

第 15 回企画運営委員会（11.12.14）のまとめ

通算で第 15 回となる企画運営委員会は 12 月 14 日（水）に亀田駅前地域交流センター・小会議室で開催されました。

今回は、過去 3 年間のふりかえりと第 5 回福祉のネットワークづくり交流会の内容検討を行いました。話し合いの内容は以下のとおりです。配付資料とあわせてご覧ください。

過去 3 年間のふりかえり

江南区・福祉の学び舎事業の3年間をふりかえっての感想等を、企画運営委員の皆さん、区役所健康福祉課担当者、まちづくり学校スタッフが一言ずつお話ししました。

【企画運営委員の皆さんのふりかえり】

- 3年間は早かった。
- 最初から参加させてもらっている。
- 知り合いが増えた。
- 交流を深められた。
- あおぞらさんとのつながりができ、その後の就労につながった。
- 委員会の多くは有識者や専門家の集まりになるが、この活動ではいろいろな人の知恵でいろいろな意見が出せた。
- はじめは何をやる場所？という感じだったが、ここは「よく考える場」だった。
- 今まででは自分の地域のことはわかっているが、他地区のことは知らなかった。しかし、この活動に参加して他地区の活動が見えてきた。
- 情報があることで行動につながり、お茶の間めぐりなど現場に行くことができてよかった。他のところもまわってみたい。
- 現場に行けないのが残念だった。
- これが「はじめの一步」なのかな？
- ようやく土台ができつつあるのかと感じている。
- 江南区として、取り組んでよかったと思う。
- 地域福祉のことを取り上げていてよかった。

- 考えたことが現実にどうつながったのか、役に立ったのかがわからなかったところが物足りなかった。
- 行政だけではなく、色々な人が関わることで配食サービスの冊子ができた。しかし、修正が必要なところもあるので、そこは今後の課題かな。
- 茶話会で地域包括支援センターを知らない人に会ったこと。
- 自分でもファシリテーション・グラフィック（会議等での記録）ができたらいいな。

【区役所健康福祉課担当者のふりかえり】

- 今までに経験のない大変おもしろい企画だった。
- 地域福祉のこと、他地区のこと、他分野のことなど勉強になった。
- 地区だったり団体同士だったり、それぞれにある壁を超えてネットワークをつくりたかった。
- さらにネットワークづくりを考えたい。
- 何もわからないまま始まったけど、ネットワークを感じることができた。
- 3年間、皆さんのおかげです！
- 進む方向のルールを敷きすぎたかもしれない。それによって、企画運営委員の関わり方を難しくさせてしまったかもしれない。
- テーマが多岐にわたっていたので設定が難しかったかもしれない。
- イベントの集客が大変だった。
- できあがったもの（配食サービスの冊子）を地域の皆さんに使ってもらえてよかった。
- 3年間で流れができた。

【まちづくり学校スタッフのふりかえり】

- ここを土台にして次の活動につながるという。
- 色々なことに「出会う」機会になった。
- リアルな場を感じる事ができた。やっている方のイキイキとした姿を見ることができた。
- 皆さんが感じている課題解決の一步があったように感じる。

■まとめ

- 3年かけて基盤ができた。この基盤づくりこそ、これからの活動を継続していくときにとても大切なところである。
- 配食サービスの冊子は有効だった。

第5回福祉のネットワークづくり交流会の内容検討について

来年2月7日（火）に開催予定の福祉のネットワークづくり交流会について、資料で提示された案をもとに皆さんで内容の検討を行いました。

☆全体について

- ・ 交流会のネーミングを変えた方がよい。かたくない言葉にしたい。
- ・ 交流会なので情報交換は大切である。
- ・ やりたい気持ちから一歩踏み出すにはつながりが大事
- ・ 3つの案のすべてを行うのは難しい。
- ・ 以前、開催時間3時間は長いという意見があった。
 - プログラムの区切り方によって時間の長さは問題にならないのではないかな。
 - プログラムを区切ることで参加しやすくもなるが、休憩時間に帰ってしまう人もいるので人数が減少することも考えられる。

案1：筒井さんの講演会（50分程度）

【話し合いで出た意見】

- ・ パネルディスカッションのためだけにお呼びするのはもったいない。
- ・ 若い世代が関わっている取り組みの話も聴きたい。
- ・ 学生起業家にも話を聞いてもらいたいし、そういう人たちとも交流したい。
- ・ 江南区の現状とクロスさせたお話を筒井さんにしてほしい。

案2：ゲストを招いたパネルディスカッション

【話し合いで出た意見】

- ・ パネルディスカッションは好評である。
- ・ 新潟日報の記者で頑張っている人がいるので、その人の話も聞いてみたい。
- ・ 新潟日報に関わってもらえると人の呼び込みにもなるのではないかな。
- ・ 筒井さんと参加者のやりとりは入れたい。

案3：参加者が小グループに分かれてミニ茶話会形式の情報交換会

【話し合いで出た意見】

- ・ 久しぶりに行ってみたいかどうか。
- ・ 話し合いの内容による。

- ・ ネットワークづくりなので小グループでの話し合いはよい。
- ・ 交流するプログラムをいれてほしい。

■決定事項

- ネットワークづくり交流会のテーマ・タイトルは「ネットワークを“形”にする」
- 第一部は、筒井啓介さん（NPO法人コミュニティワークス理事長）の講演。
第二部は、江南区内の人でのパネルディスカッション
（候補者）あおぞらポコレーション・本多さん
新潟日報・地域担当の記者さん
亀田西小コミュニティ協議会・間島さん（地域教育コーディネーター）
中蒲福祉会・土田さん
- コーディネーターはNAMARAの森下さんをお願いする。

※注）会議終了後、本多さん（あおぞらポコレーション）から山賀亮一さん（ポプラの家）に候補者が変更となりました。

その他（来年度について）

- 未定のことも多いが、これまでと同じ方向性でバージョンアップし、進めていく予定である。
 - （例）課題解決のための実験プロジェクトなどの取り組み
→具体的な課題は現場の活動の中から見つけていきたい考え。
 - （例）配食サービスの冊子をつくるようなこと。
- 企画運営委員の継続については改めてお願いをしたい。

以上です。次は、来年2月7日のネットワークづくり交流会開催となります。今後もお協力をどうぞよろしくお願いいたします。